授業科目	＊母性看護学実習(2022 年度入学生)					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	必修	開講年次	3～4	開講時期	後期・前期
担当教員	古賀　玉緒、前田　幸、山田　恵、新郷　朋香						
授業概要	教員は総合病院・クリニック・助産院などの施設における助産師経験および臨地実習の指導経験をいかして、学生が効果的な実習を経験できるよう常に指導者と調整し指導に臨む。 周産期やライフサイクル各期の特徴を理解し、対象の健康状態に応じた看護を実践できる能力を養うことを目的に臨床実習を行う。						
授業形態	実習				授業方法	実習	

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	実習要項参照 １．母性看護における対象の身体的・心理的・社会的特徴を理解し、根拠に基づいた看護過程を展開できる。 ２．コミュニケーションを通して母性看護に携わる人々と意欲的に連携しながら実習に取り組むことができる。 ３．看護実践者として、倫理的態度で対象の人権を尊重した行動ができる。 ４．母性看護における看護者の役割を理解できる。
理想的レベル	標準的レベルの到達したうえで、母性看護に携わる人々と主体的にコミュニケーションをはかり倫理原則をふまえて対象をよりよい状態へ導くための支援を提供できる。 根拠をふまえて自分の意見をのべることができる。

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート	55%	実習評価表に基づいて評価します。
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物		
その他	45%	実習評価表に基づいて評価します。

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	-	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	NU31308J

学習課題（予習・復習）	１回の学習目安（時間）
看護過程を展開するなかで関連する生理機能・疾患・検査・看護などについて「妊娠期、分娩期、産褥期、新生児期に関するプリント」（母性看護方法論にて配布）や教科書・講義資料を活用し予習・復習に取り組む。	0

授業計画	
第１回	実習オリエンテーション 実習準備（技術練習など） 臨地実習

テキスト	森恵美著：系統看護学講座　母性看護各論　母性看護学[２]　医学書院　第 140 版 荒木奈緒他編：ナーシング・グラフィカ母性看護母性看護技術　メディカ出版　第 5 版 上田森夫他編：病気がみえる VOL10　産科　第 4 版　MEDIC MEDIA　 2018 太田操著：ウエルネス看護診断にもとづく母性看護過程　第 3 版　医歯薬出版　2017
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	井上裕美他編：病気がみえる VOL９　婦人科・乳腺外科　第 4 版　MEDIC MEDICA　2018 村越毅編：ペリネイタルケア 2018 年新春増刊　術前・術中・術後のアセスメント＆ケアを時系列で網羅！帝王切開バイブル　メディカ出版　2018 平澤美恵子他監：写真でわかる母性　看護技術アドバンス　インターメディカ 2017 石村由利子編：根拠と事故防止から見た母性看護技術　第 3 版　医学書院　2020 他、適宜紹介します。
課題に対するフィードバックの方法	レポートは随時コメントし返却します。
学生へのメッセージ・コメント	・母性看護領域のみならず、他領域においてこれまで学習したことも併せて復習しておきましょう。 　その際は、「妊娠期、分娩期、産褥期、新生児期に関するプリント」（母性看護方法論にて配布）や「母性看護方法論」、「母性看護学演習」で配布された講義資料も 　活用しましょう。 ・日頃からメディアや新聞をとおして、妊産褥婦や新生児に関する情報を把握しておきましょう。 ・実習中は母子の安全に配慮するためにも、「感染予防ガイドライン」を遵守し感染予防を心がけましょう。